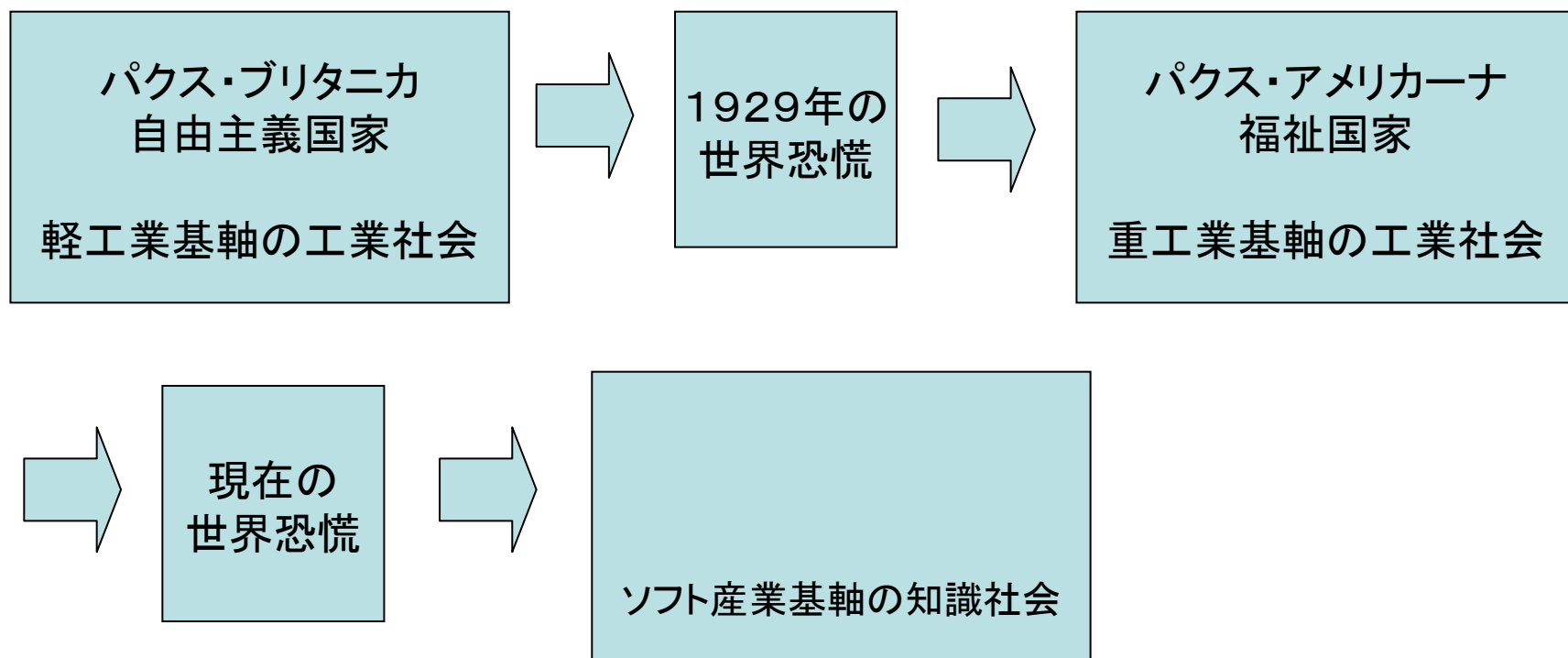


# 成長戦略としての コンクリートから人へ

関西学院大学教授  
神野直彦

# 1. 歴史の「峠」としての「危機(Crisis)」

- 重化学工業基軸の工業社会からソフト産業基軸の知識社会へ

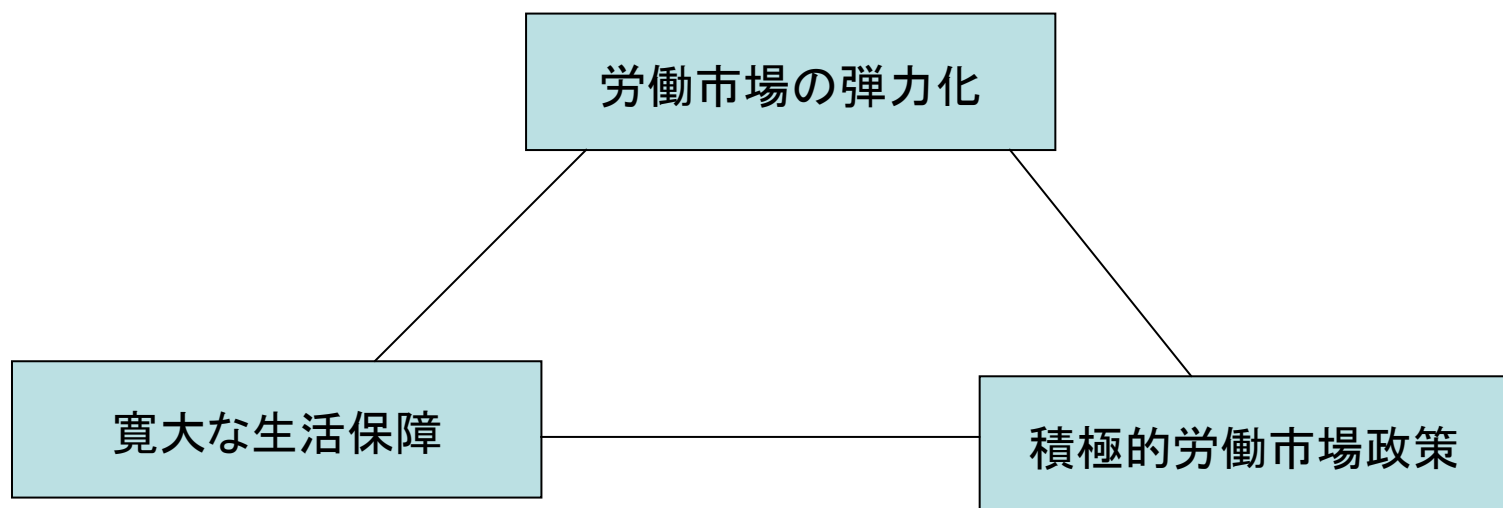


## 2. 大転換期における政府の使命

- 社会的セーフティネットと社会的インフラストラクチャの張り替え
- 安心そしてチャレンジ
- ハンドルから手を放してアクセルを吹かせる愚行
- 「不作為(レッセフェール)戦略」がないという批判

### 3. 知識社会へ舵を切る戦略

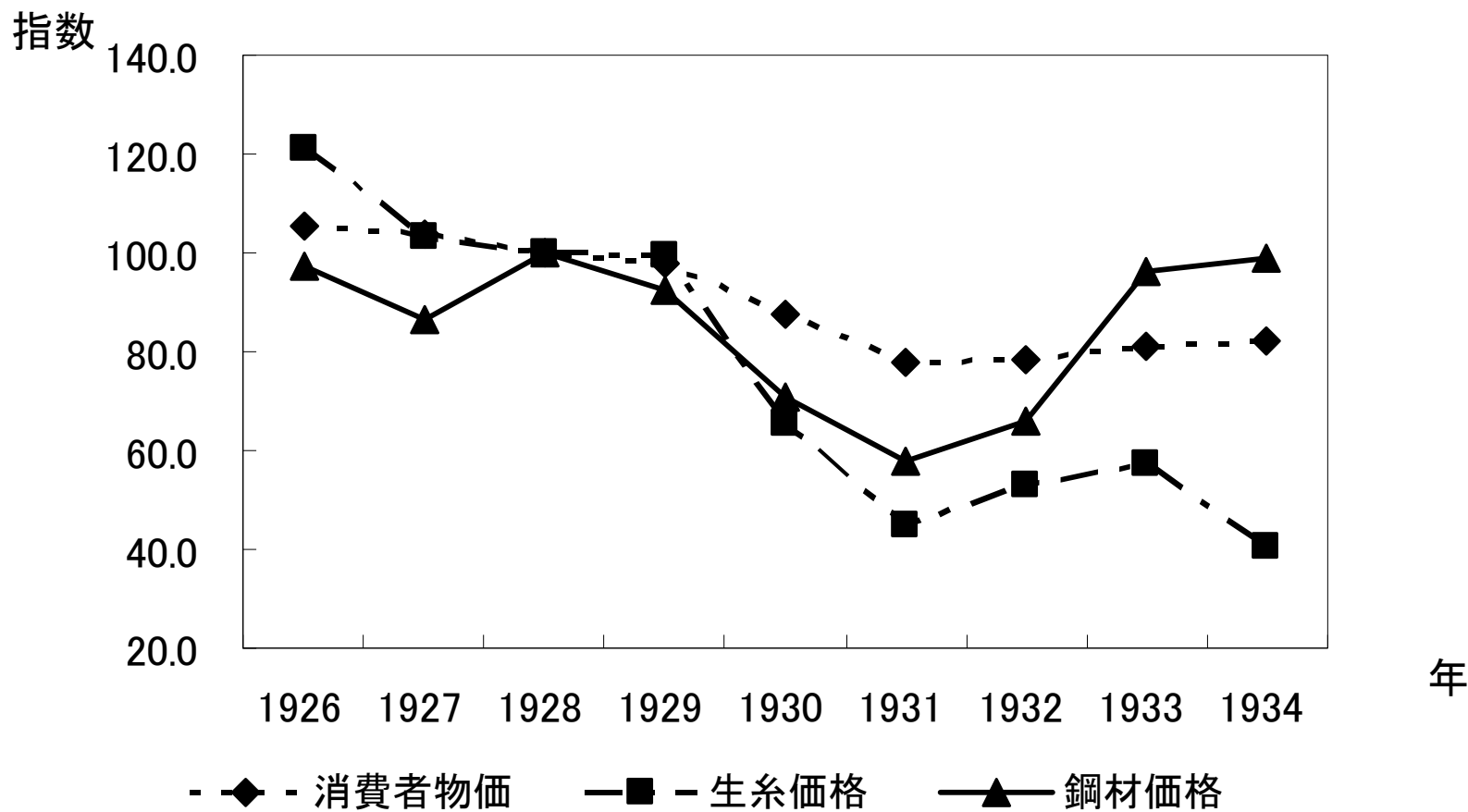
- 1929年の価格機構の役割に代わる民主主義
- フレキシキュリティに学ぶ



## 4. コンクリートから人への成長戦略

- 経済成長と雇用の確保と社会的正義の同時達成  
⇒ 人的投資
- 環境は技術革新と市場の宝庫  
⇒ 人間の生活活動の活性化
- 社会的セーフティネットから社会的トランポリンへ  
⇒ 人的インフラストラクチュアとしての知識資本  
(人的能力と社会資本)

# 昭和恐慌の諸指標(指数)



# 政府の大きさと経済的パフォーマンス

	政府の大きさ (社会的支出の GDP比)	経済成長率 (00-06平均)	格差 ジニ係数	貧困率 (相対貧困 率)	財政収支 (00-06平均)
アメリカ	14.8%	3.0%	0.357	17.1%	△2.8%
ドイツ	27.4%	1.2%	0.277	9.8%	△2.7%
スウェーデン	29.8%	2.6%	0.243	5.3%	1.4%
日本	16.9%	1.4%	0.314	15.3%	△6.7%

(注)政府の大きさ:2001年、格差:2000年、貧困:2000年のデータに基づく。財政収支と経済成長率は2001年から2006年までの平均。

(出所)OECDの資料に基づいて宮本太郎北海道大学教授の作成した資料より  
作成

# 生活保障

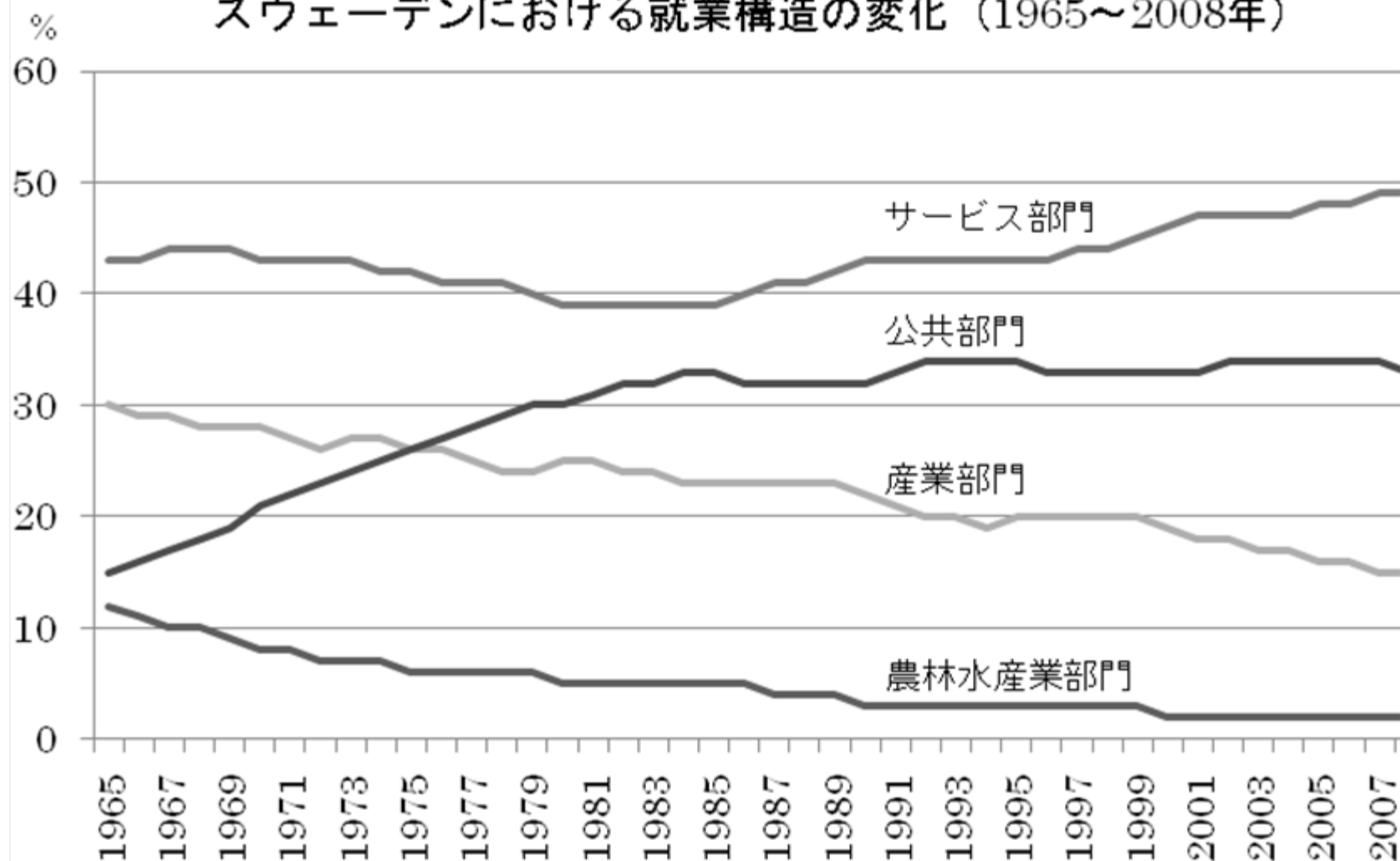
	サービス給付	現金給付
アメリカ	6.7%	7.9%
ドイツ	10.6%	15.7%
スウェーデン	14.0%	14.4%
日本	7.6%	9.1%



# 雇用保障

	雇用の弾力性	積極的労働市場政策
アメリカ	1位	0.15%
ドイツ	15位	1.25%
スウェーデン	13位	1.28%
日本	8位	0.30%

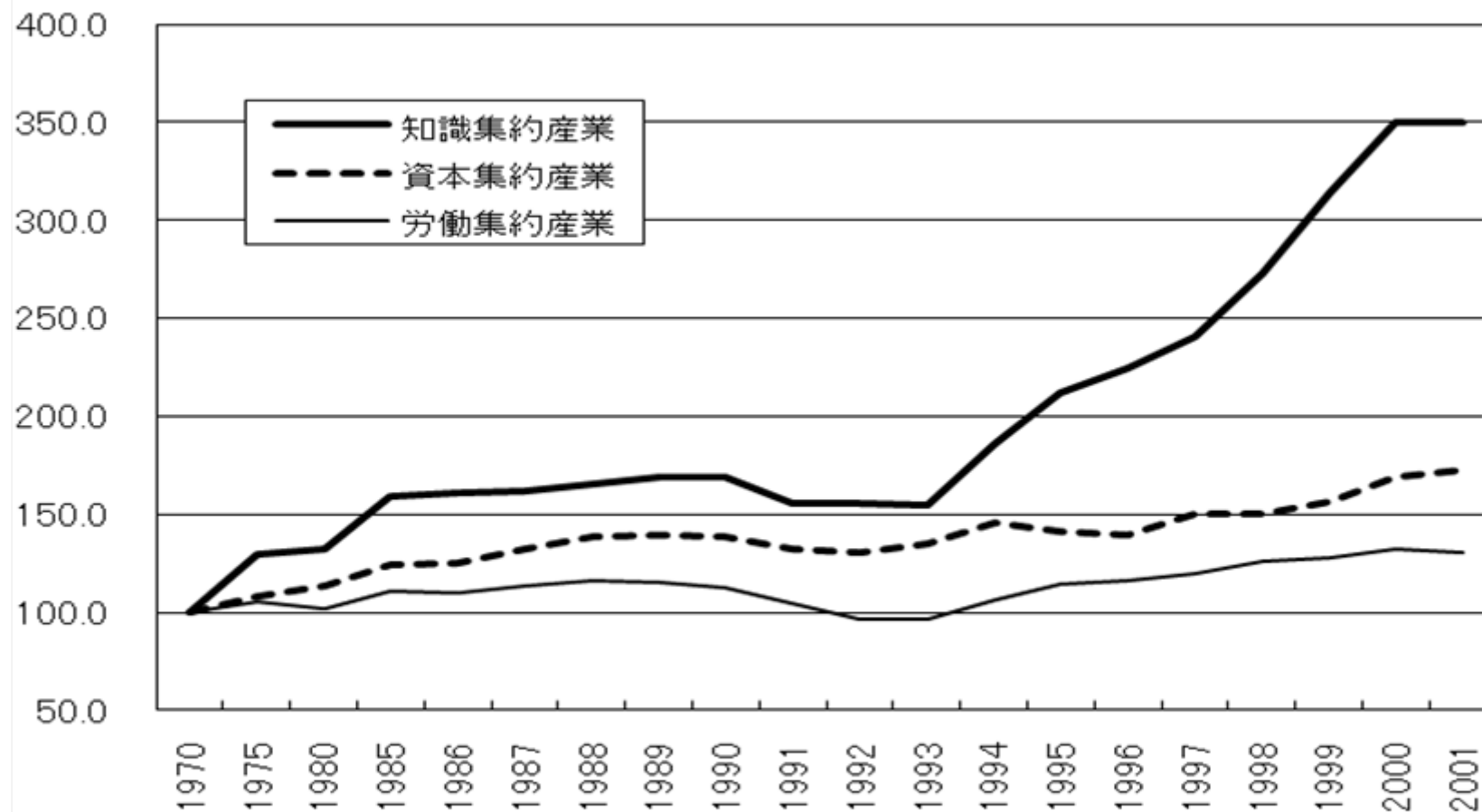
スウェーデンにおける就業構造の変化（1965～2008年）



(資料) ekonomifakta ホームページより作成。

(<http://www.ekonomifakta.se/sv/Fakta/Arbetsmarknad/Sysselsattning/Strukturforandringar-i-sysselsattningen/>)

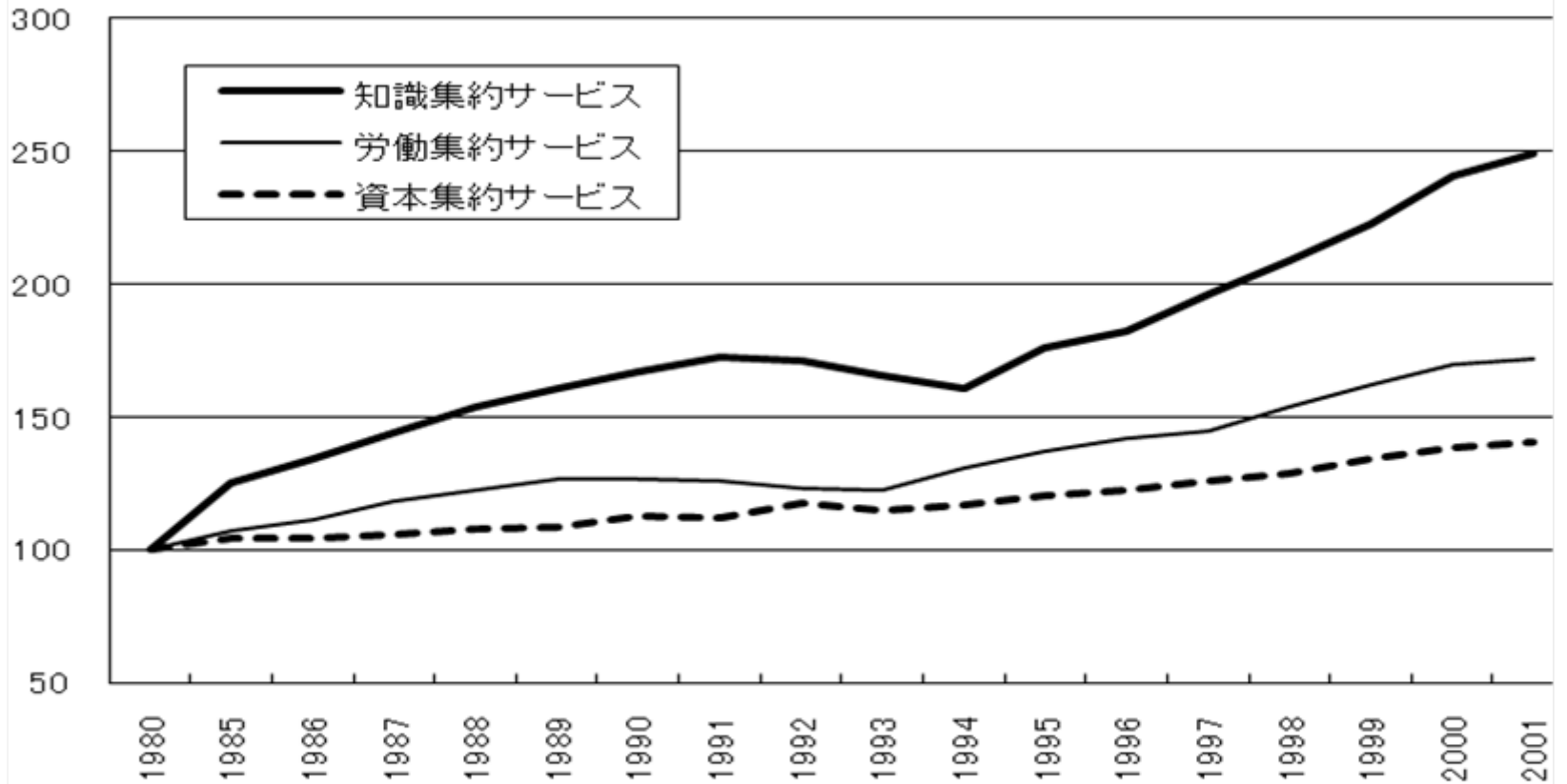
産業部門の生産性(1970 = 100)



(注) 労働集約産業: 食料品、木材製品、プラスチック・金属製品  
 資本集約産業: パルプ、紙、化学製品、採石・製鉄  
 知識集約産業: 薬剤、機械工学、電子工学、輸送機械・精密機械

(資料) Svenskt Näringsliv [2002] *Fakta om Sveriges Ekonomi*, p.37.

サービス部門の生産性(1980=100)



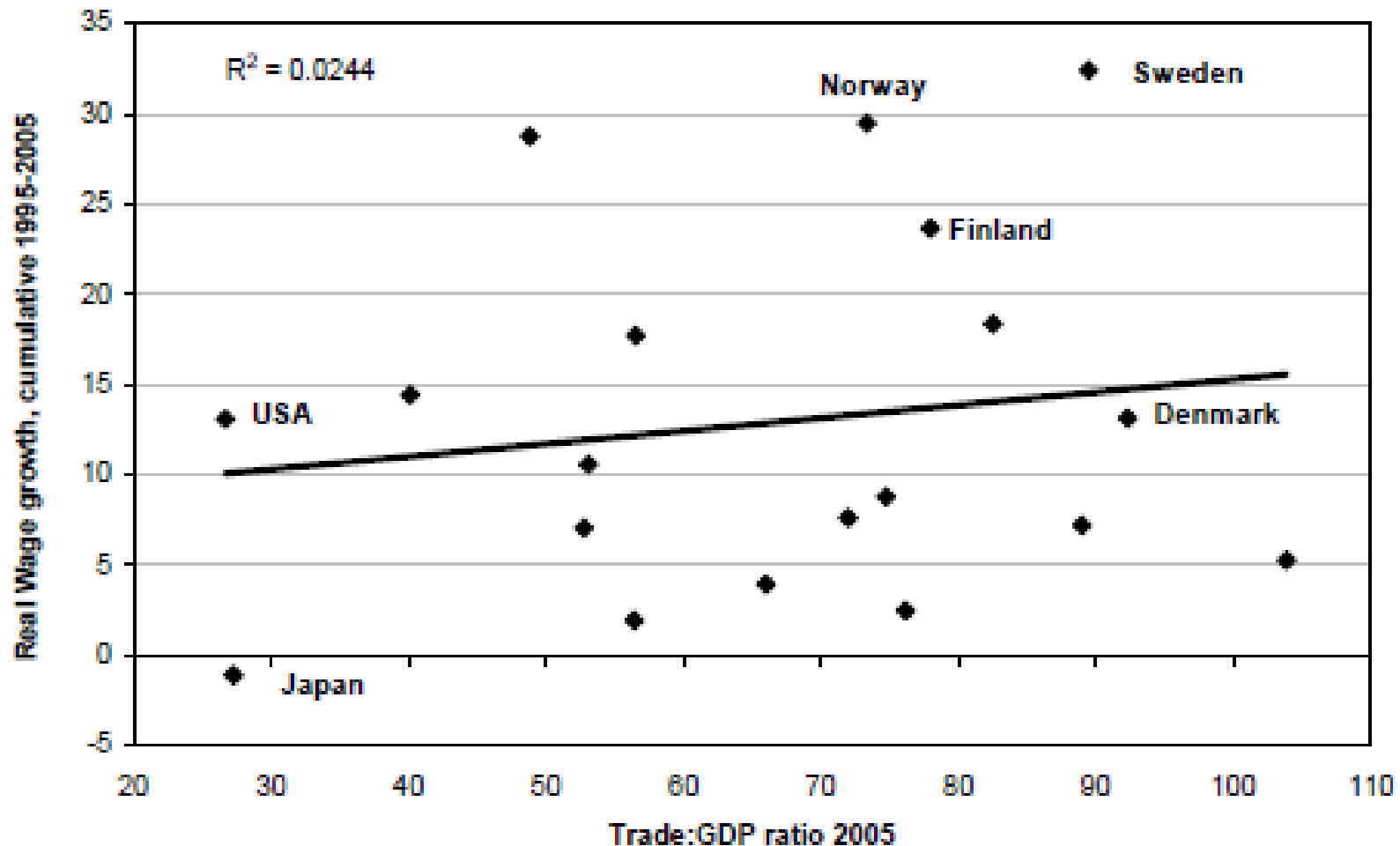
(注) 労働集約サービス: 卸売・小売業、ホテル・レストラン、対人社会サービス

資本集約サービス: 輸送、不動産

知識集約サービス: 電信電話、信用・保険、データ、教育、保健・医療

(資料) Svenskt Näringsliv [2002] *Fakta om Sveriges Ekonomi*, p.38.

Figure 19: No Race to the Bottom: Nordics Enjoy High Wage Growth



Source: OECD 2007c

Katz, Richard, 2008, "A Nordic Mirror: Why Structural Reform Has Proceeded Faster in Scandinavia than in Japan", Figure 19. より引用。